

大田区自立支援協議会 地域移行・地域生活支援部会要旨

文責：(田中委員、障がい者総合サポートセンター一部修正)

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 地域移行・地域生活支援部会 (第7回)			
(2) 開催日時	平成31年2月15日(金) 10:00~12:00			
(3) 開催場所	大田区立障がい者総合サポートセンター 5階多目的室			
(4) 出席した委員、事務局	委員 (部会長：伊藤委員)			
	白井 絵里子	山根 聖子	鶴田 雅英	相原 美晃
	志村 陽子	齋藤 信子	林 達彦	榎 拓巳
	井岡 幸子	山田 悠平	河又 保子	田中 裕子
	岡本 洋	川上 みどり	土屋 かおり	
	区職員：竜崎 香代(健康づくり課 健康づくり担当係長)			
事務局出席者 障がい者総合サポートセンター：木伏係長、森田、柳田				
(5)内容・要旨	<p>1 連絡・確認事項</p> <p>(1) 司会・書記の確認</p> <p>(2) 出欠者の確認</p> <p>(3) 配布資料の確認</p> <p>(4) 連絡会事項</p> <p>1) グループホーム連絡会の報告</p> <p>○本人や家族に向けたグループホームの情報発信方法を検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの暮らしを本人に分かりやすく、興味をもてる内容とする。 ・作成日時を記載したフォーマットを、インターネット(ホームページ)や紙媒体(写真やイラスト)で情報発信していく。 <p>2) さぼーとぴあB棟の事業内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物は完成しており、現在B棟に物品の運び入れをしている。3/24に開所予定。 ・短期入所事業(重症心身障がい児)については、体験を重ねて、本利用を開始する流れとなっている。 ・発達障がい児支援事業は、医療による専門相談と療育を中心とした放課後等デイサービスや障がい児相談支援事業を開始。 ・既存のA棟1階のカフェは閉店となり、B棟に新たなカフェが入店する。 <p>2 議事録より前回の振り返り</p> <p>○東京都自立支援協議会 学習会の内容報告</p> <p>○運営会議の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度の部会活動を検討。5つの部会の課題を引き継ぎながら、大きく3つのグループで運営ができるのではないかと意見が出ている。 <p>○3/15 自立支援協議会の本会の概要確認</p>			

3 議題

(1) 各ワーキンググループに分かれて

○第3回本会報告に向けて

①報告書に掲載する課題解決整理表のまとめ

- ・サブタイトルをつける。

②部会活動における報告内容のまとめ

- ・検討課題、見学会を実施して、今年度の到達点の整理。

⇒「各ワーキンググループの取り組み」を2/20までにまとめる。

(2) 来年度の協議会に向けて

1) 今年度の5部会で検討してきた課題内容の振り返り

- ・他の部会と重複する課題、他のネットワークに引き継げる課題、協議会で継続すべき課題に整理できる。

2) 平成31年度の協議会体制に向けて

<運営会議より提案>

- ・新たな運営体制の構築が必要。
- ・それぞれ部会の検討課題を集約・整理し、それを協議するための専門部会となるように、3部会に再編成する。また、協議会委員の任期を2年とする。
- ・今年度協議会テーマとなっている「つながる」「わたす」「ひろげる」のテーマを引き継ぎ、よりおおた障がい施策推進プランとリンクする。

<参加委員よりご意見>

- ・委員任期が終わると委員の入れ替わりがあり、次年度につながりにくい。
- ・障がい施策推進プランに基づいた再編成は支持する。ただし、3部会となると、今期検討してきたことが活かしかれるか不安は残る。だが、今が変わるための過渡期だと思う。
- ・急な変化は分かりづらいのではないかと。今まで検討してきたことの継承方法が明確化されていない。
- ・障がい施策推進プランから、取り上げる課題を明確にしないと、協議会で検討する内容が難しくなる懸念がある。簡単に、変化させられないのではないかと。

4 「ご意見カードの記入」

※連絡事項

自立支援協議会 第3回本会

日時：平成31年3月15日（金）13時30分～15時45分

場所：さぽーとぴあ 5階多目的室